みずほCustomer Desk Report 2018/08/02 号 (As of 2018/08/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	111.87
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.83	1.1689	130.70	1.3118	0.7420
SYD-NY High	112.15	1.1700	131.11	1.3144	0.7429
SYD-NY Low	111.39	1.1658	130.04	1.3097	0.7390
NY 5:00 PM	111.72	1.1661	130.28	1.3126	0.7405

NY DOW	25,333.82	▲ 81.37	日本2年債	-0.0900	3.00bp
NASDAQ	7,707.29	35.50	日本10年債	0.1200	7.00bp
S&P	2,813.36	▲ 2.93	米国2年債	2.6796	0.82bp
日経平均	22,746.70	192.98	米国5年債	2.8743	2.72bp
TOPIX	1,769.76	16.47	米国10年債	3.0036	4.29bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,650.00	10.00	独10年債	0.4740	3.30bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,652.91	▲ 95.85	英10年債	1.3785	4.90bp
DAX	12,737.05	▲68.45	豪10年債	2.7060	3.95bp
ﾊﾝｾﾝ指数	28,340.74	▲242.27	USDJPY 1M Vol	6.70	0.10%
上海総合	2,824.53	▲ 51.87	USDJPY 3M Vol	7.33	0.20%
NY金	1,227.60	▲6.00	USDJPY 6M Vol	7.68	0.18%
WTI	67.66	▲ 1.10	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	191.64	▲ 2.89	EURJPY 3M Vol	7.63	0.00%
ドルインデックス	94.62	0.13	EURJPY 6M Vol	8.10	0.04%

アジア

東京時間のﾄﾞﾙ円は111.83ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。｢ﾄﾗﾝﾌﾟ米政権が2000億ﾄﾞﾙ相当の中国製品に25%の輸入関税を提案することを計画している｣との報道が伝わったものの、ﾄﾞﾙ円の下押し圧力は限定的となり、111円台後半での底堅い推移に。その後、円債の10年長期国債利回りが昨年2月以来の水準となる一時0.115%まで上昇する展開となったものの、円買い圧力は高まらずﾄﾞﾙ円は底堅い推移となり112円台まで上昇。一時112.08まで上昇した後、112.05ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、112.05ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米中貿易摩擦を巡る報道を背景に不安定な展開。米長期金利は上昇したものの、ﾄﾗﾝﾌﾟ政権が25%の関税を導入することを検討し、早ければこの日のうちにも発表されるとの思惑が浮上する中、売り買い交錯。112円を挟んで上下動し、111.90ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1678ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米連邦公開市場委員会(FOMC)を控えて様子見姿勢が広がり、小動きとなった。1.1686ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは1.3105ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。夏季休暇中のﾒｲ英首相が、休暇を早期に切り上げ、英EU離脱交渉を来週にも再開させることが伝わったことから、1.3138まで買われ、1.3129ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 山本)

ニューヨーク

NY 海外市場のﾄﾞﾙ円は、日経平均株価の堅調推移を背景に112.15をつけるが、ﾄﾗﾝﾌﾟ政権が対中輸入関税率を10%から25%へ引き上げることを検討していると報道されている中、上値は重く111.81まで反落し、111.90ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米7月ADP雇用統計が市場予想を上回り（前回値も上方修正）、米10年債利回りが3%台まで上昇する動きにつれて112.01をつけるが、10時に発表された米6月ISM非製造業景況指数が市場予想を下回り111.86まで反落。その後、米中通商問題や米政府がﾄﾙｺに対し経済制裁を準備しているとの報道が流れ、ﾘｽｸｵﾌの円買いが強まり111.64まで下落する。午後に公表されたFOMCは予想通り政策金利が据え置かれ、声明文も前回とほぼ同じ内容だったが、ほぼ同時刻に｢ﾄﾗﾝﾌﾟ政権の対中輸入関税率の引き上げ計画が本日にも発表される｣との観測報道が再び出たことから一時111.39をつける。終盤は111.60近辺まで戻し、111.72ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙはFOMCを控え様子見ﾑｰﾄﾞが強まる中、1.1685近辺で小動きに推移し1.1686ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は1.1700まで上昇するが、欧州株の軟調推移と米金利の上昇で上値は重く、1.1676まで反落。その後、対円のﾕｰﾛ売りが対ﾄﾞﾙにも波及し、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1658まで下落する。FOMC声明文がほぼ予想通りの内容だったことからﾕｰﾛﾄﾞﾙの反応は限定的だった。その後1.1678まで戻すが、終盤は小動きとなり1.1661ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：坂本・森谷

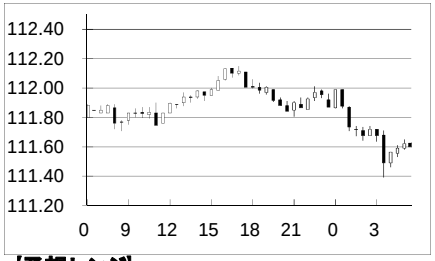
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月1日	16:55	独	ﾏｰｸｲｯﾄ製造業PMI・確報	7月	56.9	57.3
	21:15	米	ADP雇用統計	7月	219k	186k
	22:45	米	ﾏｰｸｲｯﾄ製造業PMI・確報	7月	55.3	55.5
	23:00	米	ISM製造業景況指数	7月	58.1	59.4
8月2日	03:00	米	FOMC政策金利(上限)	-	2.0%	2.0%
	03:00	米	FOMC政策金利(下限)	-	1.75%	1.75%

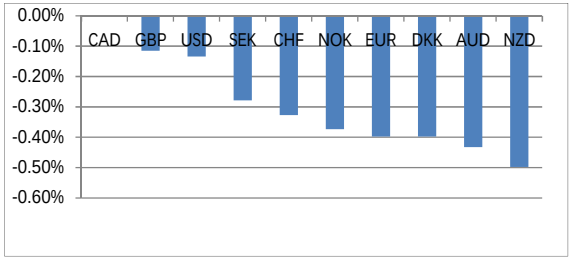
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月2日	18:00	欧	PPI(前月比/前年比)	6月	0.3%/3.5%	0.8%/3.0%
	20:00	英	イングランド銀行政策金利	-	0.750%	0.500%
	21:30	米	BOE資産購入目標	-	£435b	£435b
	20:30	英	カーニーBOE総裁 講演	-	-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	220k	217k
	23:00	米	製造業受注(前月比)	6月	0.7%	0.4%
	23:00	米	耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	6月	-	1.0%/0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1620-1.1720	129.50-130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は軟調推移。トランプ政権が対中輸入関税の引き上げ検討報道や、米政府によるトルコへの制裁報道が警戒された。また、開催されたFOMCでは政策金利は予想通り据え置き、声明文も前回6月会合を踏襲する内容で相場への影響は限定的だった。本日はレンジ推移を予想。米国から対中輸入関税引き上げ計画が本日にも発表されるとの報道もあり、下値を探る可能性はある。しかし、昨日発表された米7月ADP雇用統計は予想を上回る結果であり、3日(金)に発表される米7月雇用統計で良好な結果に期待はできることから、下落したところでは買戻しも入ると考える。